

## セグロウリミバエについて

- 1 セグロウリミバエとは  
主にウリ科の果菜類に被害を与える重要な害虫  
※体長約8～9mmの小型のハエの一種
- 2 寄主植物
  - ・ 主にウリ科（キュウリ，スイカ，カボチャ，メロン，トウガン，ニガウリ，ヘチマ等）。
  - ・ その他，ナス科（トマト，ピーマン，トウガラシ等），パッションフルーツ，スモモ，パパイヤ，ドラゴンフルーツ，グアバ，インゲン等にも寄生する。
  - ・ 沖縄県では，家庭菜園のウリ科生果実で寄生が確認。
- 3 特徴
  - ・ 雌が果実に産卵し，果実内で幼虫の食害が進行すると果実が腐敗・落果する。
  - ・ 幼果から熟果まで，広い生育段階の果実に産卵する。
- 4 世界における発生地域  
中国，台湾，インド，東南アジア等
- 5 防疫措置
  - ・ 植物防疫法において，検疫有害動植物に指定。
  - ・ 沖縄県では，令和6年3月に名護市で確認されて以降，継続して誘殺等が確認され，令和7年4月14日から植物防疫法に基づく緊急防除が実施されている。
  - ・ 県内では，国が港湾，空港等29か所で，県は411か所の定点で侵入警戒調査を実施。



成虫



幼虫